年間授業計画

高等学校 令和6年度（３学年用） 教科日本の伝統と文化　　科目　和太鼓

教　科：日本の伝統と文化　　科　目：和太鼓　　単位数：　2　単位

対象学年組：第１学年　　組～　　組

教科担当者　（　１２３４５組：外部指導員

使用教科書　（ なし　　）

教科　日本の伝統と文化　　の目標：

【知識及び技能】　伝統的文化に接し、実際にその技能を学びとる。

【思考力、判断力、表現力等】　それぞれの技能の歴史や背景を考察しそれを基づき再現、行動できる。

【学びに向かう力、人間性等】　礼儀作法の大切さやお互いに学び合う姿勢を学ぶ。

科目　和太鼓　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の伝統的な技能を身近で感じとる。 日本の伝統的な技能を実際に行う。	日本の伝統的な技能を実際に行うことでそれぞれの技能に基づく歴史や背景を考察し細やかな日本文化について考察する。	礼儀作法を身に付け日本人の民族性やお互いに学び合う姿勢を学ぶ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	○太鼓の基本 ○ぶち合わせ太鼓 ○技の修練	○バチの持ち方、太鼓に向かう姿勢、構、足、腰の使い方を学ぶ ○基本のリズム、口伝を伝え、ぶち合わせ太鼓の口伝へと伝えていく ○ソロ部分を覚え打ちし、～回転～打ち上げの全てを覚え、叩けるようにする	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 について総合的に判断し、評価する。	○	○	○	24
2学期	○輝け囃子 ○秩父屋台囃子	○お囃子を楽しむ ○お囃子が笛などにのって叩いていることをイメージする ○秩父屋台囃子の口伝を伝え、叩けるようにする ○座って叩く姿勢、太鼓への向かいかた、「テケテケ」の下打ちにのって叩けるようにする	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 について総合的に判断し、評価する。	○	○	○	28
3学期	○アンサンブルを深める ○外部へお披露目できるようにする	○今までの演目のお囃子の完成度を高める ○上打ち、下打ちどちらも自信を持って叩けるようにし、外部へ発表する	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 について総合的に判断し、評価する。	○	○	○	18
							合計 70